

- 問1 1989年、アメリカ合衆国のブッシュ大統領とソビエト連邦のゴルバチョフ書記長が地中海の島で会談を行い、第二次世界大戦後から長らく続いてきた「冷戦」の終結を宣言しました。この歴史的な会談を何と呼びますか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. ポツダム会談 2. ヤルタ会談 3. マルタ会談 4. サンフランシスコ講和会議
- 問2 1995年の沖縄戦終結50周年を記念して建設された「平和の礎」について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 戦後50年の節目である1995年に建設された際、全ての刻銘作業が完了し終了した。 2. 軍人か民間人か、また国籍がどこであるかを問わず、全ての戦没者の氏名が刻まれている。 3. 沖縄県出身の民間人の犠牲者に限定して、その氏名が刻まれている。 4. 日本軍の軍人と、その戦闘に協力した日本国民の氏名のみが刻まれている。
- 問3 1992年に制定された国際平和協力法（PKO協力法）に基づき、自衛隊の部隊が国際平和維持活動（PKO）のために初めて派遣された国はどこですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. キューバ 2. ベトナム 3. カンボジア 4. アフガニスタン
- 問4 1949年の中華人民共和国建国以降の国際的な出来事を、古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 2. 日韓基本条約 → アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → ドイツ統一 3. ドイツ統一 → 日韓基本条約 → 香港返還 → アジア・アフリカ会議 4. アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還
- 問5 1989年にベルリンの壁が崩壊したことは、その後の国際情勢にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. アジアでの植民地支配が強化され、資本主義諸国による分割が進んだ。 2. 社会主義陣営が結束を強め、アメリカとの軍備拡張競争が一段と激しくなった。 3. 東西ドイツの分断解消に向けた動きが加速し、長年続いた冷戦構造が崩壊した。 4. ドイツが再びナチスの支配下に入り、ヨーロッパ全土で緊張が高まった。
- 問6 1960年代から2000年ごろまでの日本および世界の出来事について、古いものから新しいものへと時系列順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一 2. 石油危機（オイル・ショック） → 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択 → 東西ドイツの統一 3. 東西ドイツの統一 → 石油危機（オイル・ショック） → 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択 4. 東海道新幹線の開業 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一 → 京都議定書の採択
- 問7 1980年代後半から1990年代初頭にかけて、第二次世界大戦後の国際秩序が大きく変化し冷戦が終結した背景と結果について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された 2. 社会主義陣営の結束を強めるためにワルシャワ条約機構が強化された結果、アメリカが歩み寄らざるを得なくなり冷戦が終わった 3. アメリカとソ連がキューバを巡って核戦争寸前の対立を起こした結果、双方が歩み寄り、冷戦が即座に終結した 4. 西ドイツと東ドイツの間で武力衝突が激化したため、国際連合の仲裁によってベルリンの壁が取り壊され、冷戦が終結した
- 問8 1989年には東欧諸国で民主化運動が激化し、分断の象徴であったベルリンの壁が崩壊するなど、社会主義体制が大きく揺らぎました。こうした激動の国際情勢の中で開催された「マルタ会談」が世界史において果たした役割について、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 第二次世界大戦後のドイツを、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の4カ国で分割統治することを決定した。 2. アメリカとソ連が共同でベトナム戦争に介入し、社会主義勢力を抑え込むことを合意した。 3. 核兵器の完全廃棄を決定し、国際連合の管理下で全ての大量破壊兵器を撤去することを宣言した。 4. アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。
- 問9 1930年代後半、日中戦争が長期化する中で制定された「国家総動員法」の目的と、その内容についての説明として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。 2. 教育の機会均等を実現し、個人の尊厳を重んじる民主的な教育制度を確立すること。 3. 企業の生産活動によって発生する大気汚染や水質汚濁に対し、企業の社会的責任を明確にすること。 4. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やして社会を安定させること。
- 問10 1990年から1992年にかけての国際連合加盟国数の推移を見ると、短期間に加盟国が急増しています。この背景として最も適切な歴史的な事象はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. ロシア革命が起こり、ソビエト社会主義共和国連邦が樹立されたこと 2. ドイツの統一に伴い、東西に分かれていた国家が一つにまとまったこと 3. ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと 4. アフリカの年と呼ばれた時期に、多くの植民地が独立を果たしたこと
- 問11 広島県に位置する史跡で、かつては「広島県物産陳列館」として利用されていましたが、現在はドーム状の鉄骨が露出した姿で保存され、1996年にユネスコの世界遺産に登録された建物の名称を答えなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 2. 原爆ドーム 3. 平和の礎 4. 平和祈念資料館
- 問12 1980年代後半、日本が資本主義諸国の中で国民総生産（GNP）第2位の経済力を維持していた時期の国際情勢について、冷戦の終結に至る背景や経緯を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 2000年代に発生した同時多発テロをきっかけに、アメリカとソ連が共通の敵に立ち向かうために軍事同盟を結んだことで冷戦が終結した。 2. ベルリンの壁が建設されたことによって東側諸国の結束が強まり、これに脅威を感じたアメリカが平和共存を提案して冷戦が終結した。 3. ソ連のゴルバチョフ書記長が国内の改革を進める中でアメリカとの対話を重視し、1989年の会談で東西対立の終わりを宣言した。 4. 東側諸国が日本の経済発展を模範として社会主義体制をさらに強化した結果、アメリカが譲歩を余儀なくされて冷戦が終わった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 マルタ会談	1980年代後半、ソビエト連邦のゴルバチョフ書記長は「ベレストロイカ（改革）」を進めて西側諸国との関係改善を図りました。1989年12月に地中海のマルタ島で行われたこの会談により、資本主義陣営と社会主義陣営が厳しく対立した冷戦時代の終わりが世界に示されました。
問2	答え 2 軍人が民間人か、また国籍がどこであるかを問わず、全ての戦没者の氏名が刻まれている。	沖縄戦の悲劇を教訓とし、世界の恒久平和を願う目的で建設されました。最大の特徴は、敵味方の区別なく、アメリカ、イギリス、台湾、朝鮮半島など、沖縄戦に関わった全ての国の犠牲者を対象としている点にあります。特定の身分や国籍に限定せず、等しく追悼の意を表すという理念に基づいています。
問3	答え 3 カンボジア	1991年の湾岸戦争において、日本は多額の資金協力を行ったものの、人的な貢献が不十分であるとの批判を国際社会から受けました。これを受け、翌1992年に国際平和協力法（PKO協力法）が制定され、同年に内戦が終結したカンボジアの復興支援を目的として、自衛隊が初めて海外へ派遣されました。
問4	答え 4 アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還	アジア・アフリカ会議は1955年、日韓基本条約の締結は1965年、ドイツの統一は1990年、香港の返還は1997年という順序で起こりました。これらはアジア諸国の自立、日本の戦後外交の進展、そして冷戦の終結とその後の秩序の変化を示す象徴的な出来事です。
問5	答え 3 東西ドイツの分断解消に向けた動きが加速し、長年続いた冷戦構造が崩壊した。	ベルリンの壁は東西冷戦の象徴としてドイツを分断していましたが、1980年代末の社会主義圏の動揺により市民の手で崩壊させられました。これにより、翌1990年には東西ドイツの統一が実現し、アメリカとソ連の二大国が世界を二分していた「冷戦」という国際秩序が終わりを迎え、世界は新たな時代へと移行しました。他の選択肢にある軍拡競争の激化などは冷戦の終結とは逆の動きです。
問6	答え 4 東海道新幹線の開業 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一 → 京都議定書の採択	東海道新幹線の開業は東京オリンピックと同じ1964年であり、高度経済成長の象徴的な出来事です。その後、1973年の第四次中東戦争をきっかけに石油危機（オイル・ショック）が発生し、日本の高度経済成長は終焉を迎えました。冷戦が終結に向かう中で1990年に東西ドイツの統一が実現し、さらにその後の1997年に地球温暖化防止のための京都議定書が採択されました。
問7	答え 1 ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された	ソ連のゴルバチョフ政権による改革は、それまでソ連の強い影響下にあった東欧諸国の民主化を後押ししました。これにより1989年に東欧の社会主義体制が次々と崩壊し、1991年末にはソビエト連邦自体が解体されたことで、冷戦の対立軸そのものが消失しました。キューバ危機やベルリン封鎖は冷戦中の緊張が高まった出来事であり、終結の背景ではありません。
問8	答え 4 アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。	1989年は東欧の社会主義諸国で民主化が進み、11月にはベルリンの壁が崩壊しました。この直後の12月に開催されたマルタ会談において、米ソ首脳が冷戦の終わりを正式に認めたことで、1940年代後半から続いてきた「冷戦」という特殊な国際秩序が消滅しました。選択肢にあるベトナム戦争は1970年代に終結しており、ドイツの分割統治は1945年のヤルタ会談やポツダム会談に関連する出来事です。
問9	答え 1 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。	1938年に制定された国家総動員法は、戦争のために国全体の力を集中させる「総力戦体制」を構築することが目的でした。この法律により、政府は帝国議会の審議を経ることなく、国民を徴用したり、物資の生産や配分を統制したりする強大な権限を持つようになりました。
問10	答え 3 ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと	冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊を経て、1991年にソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が解体されました。これにより、ウクライナや中央アジアの諸国など、それまでソ連の構成員であった多くの共和国が独立国家となり、それぞれが国際連合に加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が劇的に増加しました。
問11	答え 2 原爆ドーム	この建物は1915年に建設された広島県物産陳列館が前身です。1945年8月6日の原子爆弾投下により、ほぼ真上から爆風を受けたため、中央のドーム部分など建物の中心部が倒壊を免れました。核兵器の惨禍を象徴し、二度と同じような悲劇を起こさないための「負の遺産」として、世界遺産に登録されています。選択肢にある「平和の礎」は沖縄県にある戦没者刻銘碑であり、混同に注意が必要です。
問12	答え 3 ソ連のゴルバチョフ書記長が国内の改革を進める中でアメリカとの対話を重視し、1989年の会談で東西対立の終わりを宣言した。	ソ連のゴルバチョフ書記長は、停滞していた社会主義経済を立て直すために改革を行い、外交面でもアメリカとの緊張緩和を積極的に進めました。1989年のマルタ会談において、アメリカのブッシュ大統領とともに冷戦の終結を公式に宣言したことで、第二次世界大戦後から世界を二分していた「西側諸国」と「東側諸国」の激しい対立が歴史的な区切りを迎えました。なお、ベルリンの壁の建設は1961年の出来事であり、冷戦を象徴する対立の激化を示すものです。